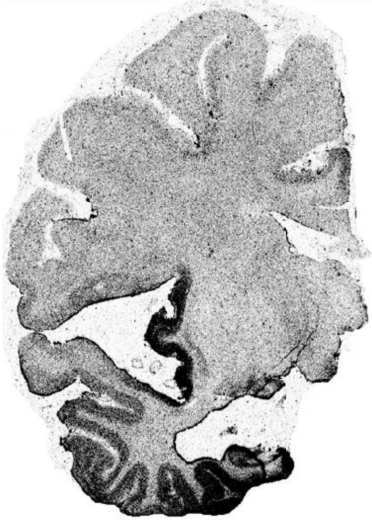


[³H]THK-5351

[¹¹C]PiB

Tau (AT8)
(Braak stage IV)



AD /69M

図6 アルツハイマー病患者(AD)脳切片における[³H]THK-5351、[¹¹C]PiB のオートラジオグラフィ像と隣接切片におけるタウの免疫染色像

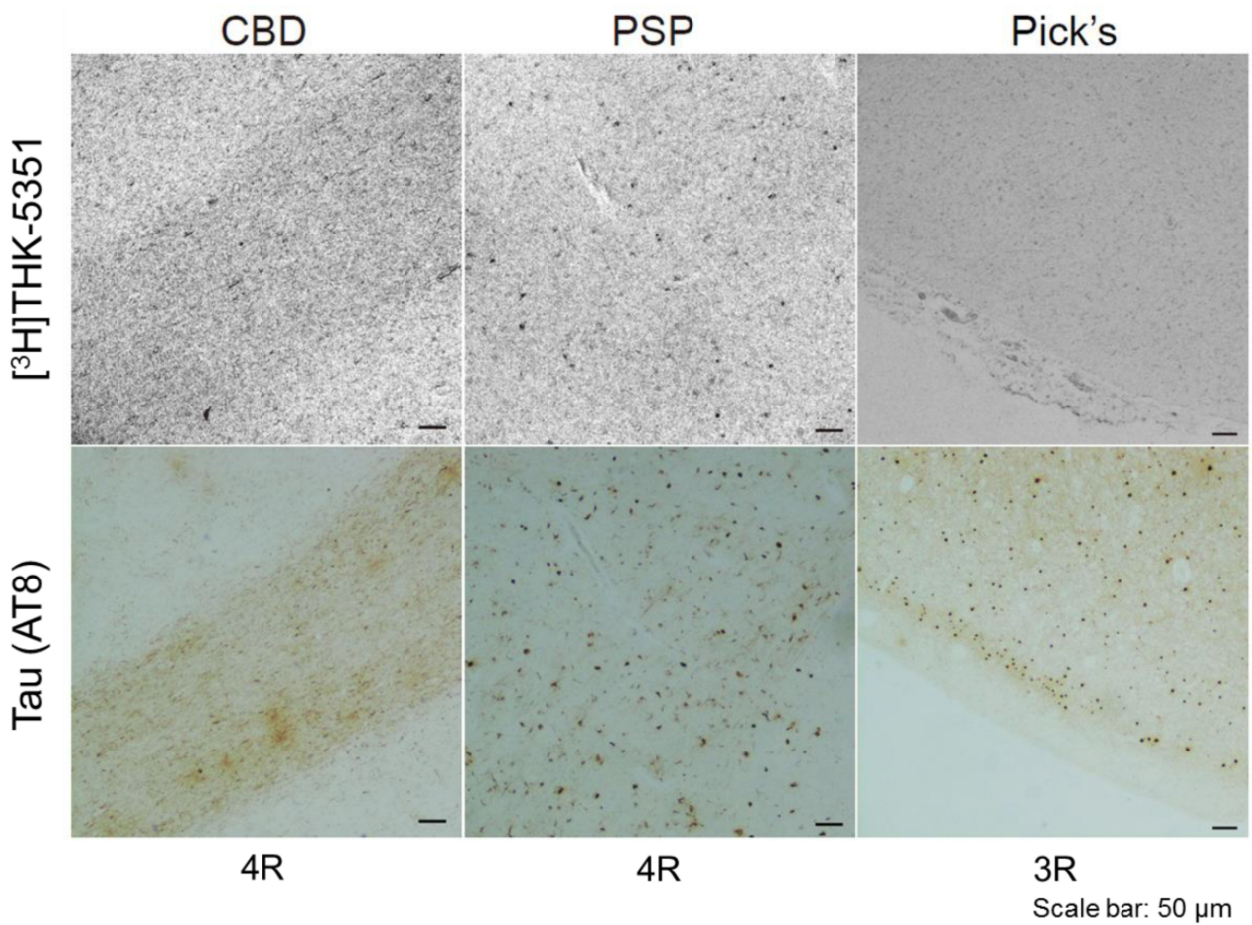
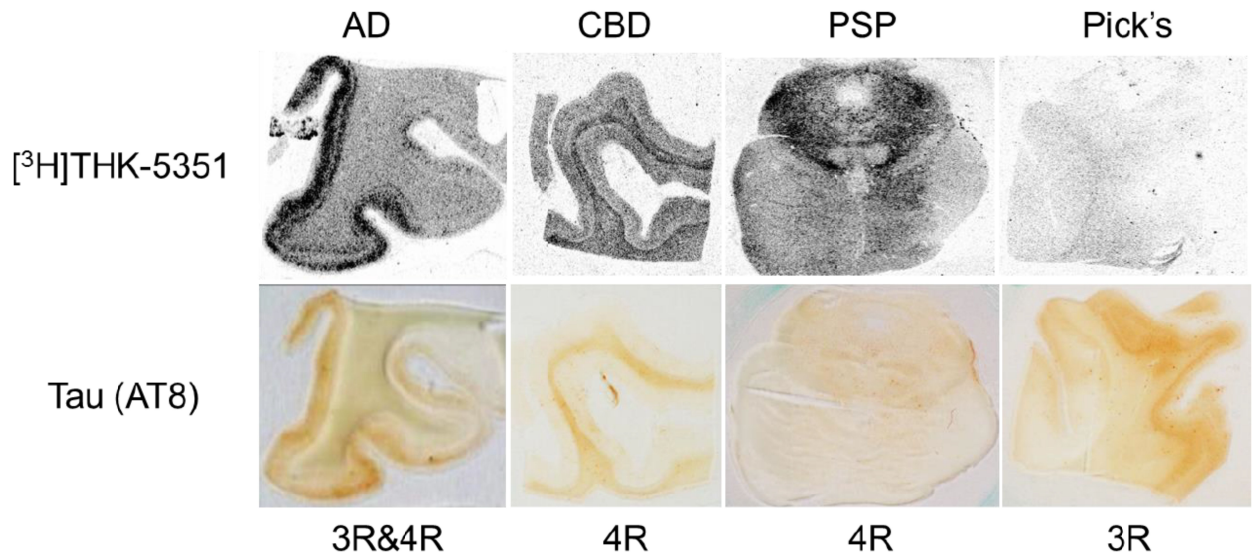


図7 Non-AD タウオパチー(CBD, PSP, Pick's)脳切片に対する $[^3\text{H}]\text{THK-5351}$ のオートラジオグラフィ像とマイクロオートラジオグラフィ像

Brain

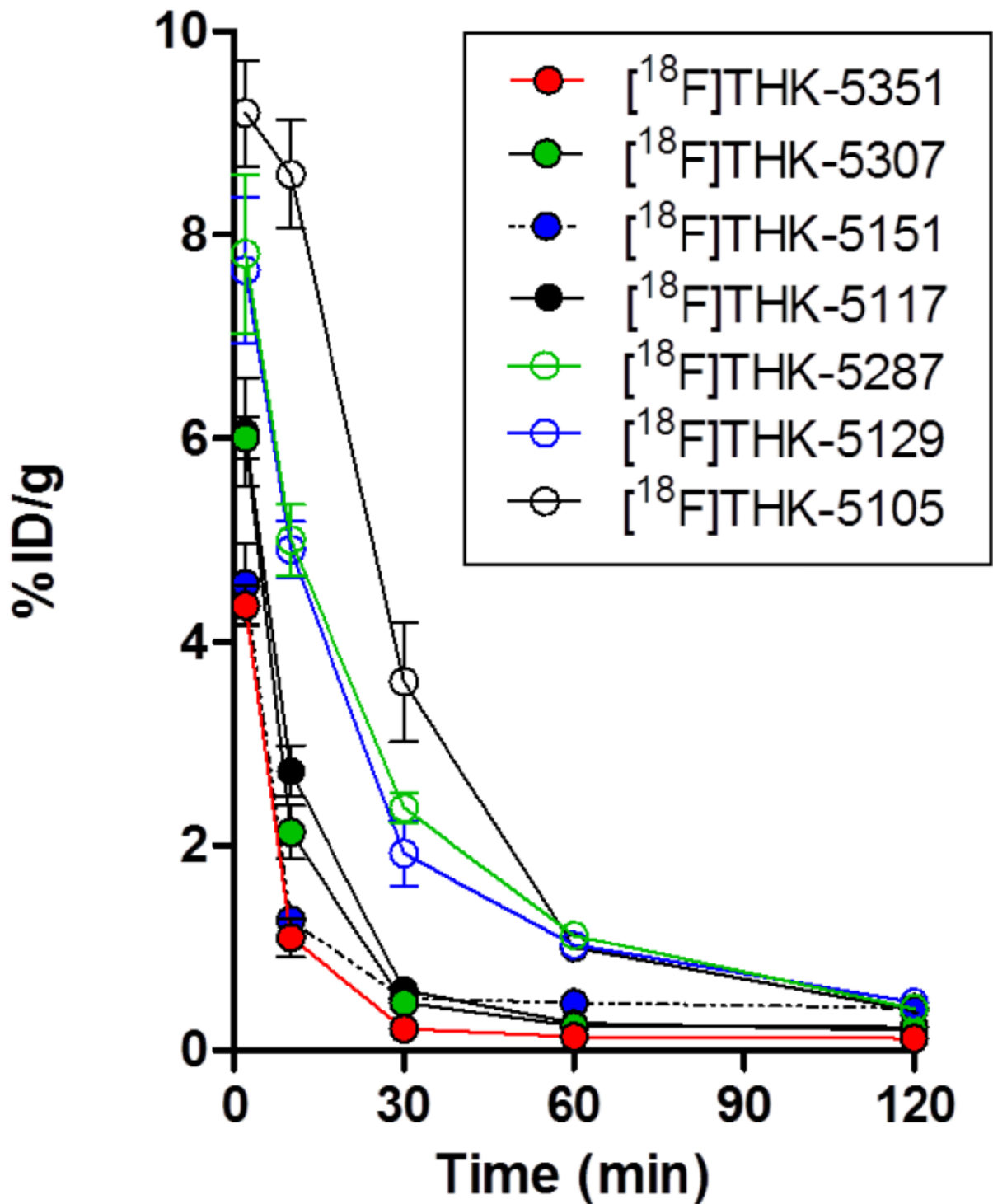


図8 正常マウスにおける $[^{18}\text{F}]$ THK化合物の脳内移行性とクリアランス

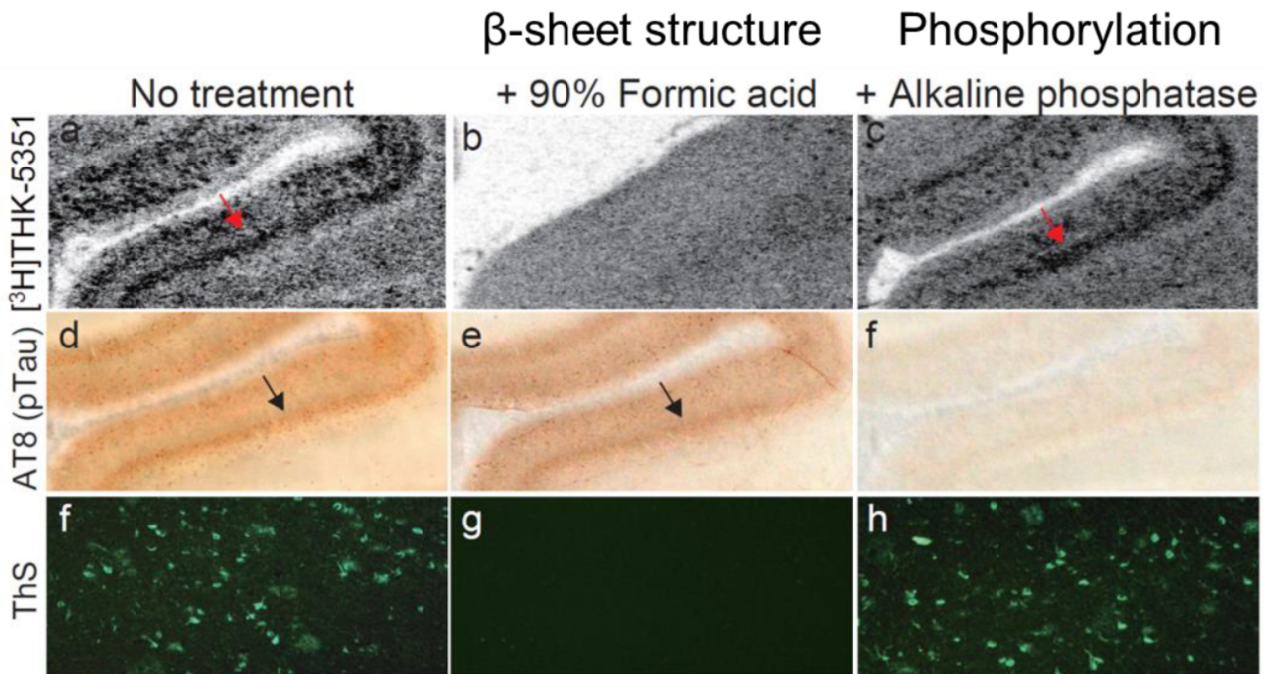


図9 ^3H THK-5351 のギ酸処理あるいは脱リン酸化処理した AD 脳切片におけるオートラジオグラフィ画像と抗リン酸化抗体(AT8)による免疫染色画像とシート構造に結合する Thioflavin-S の染色画像。THK-5351 は主にタウ病変のシートコンフォメーションを認識しているが、タウ蛋白のリン酸基もその結合に一部関与している。FA:ギ酸、AP:アルカリフォスファターゼ(脱リン酸化酵素)。矢印:タウ病変の分布

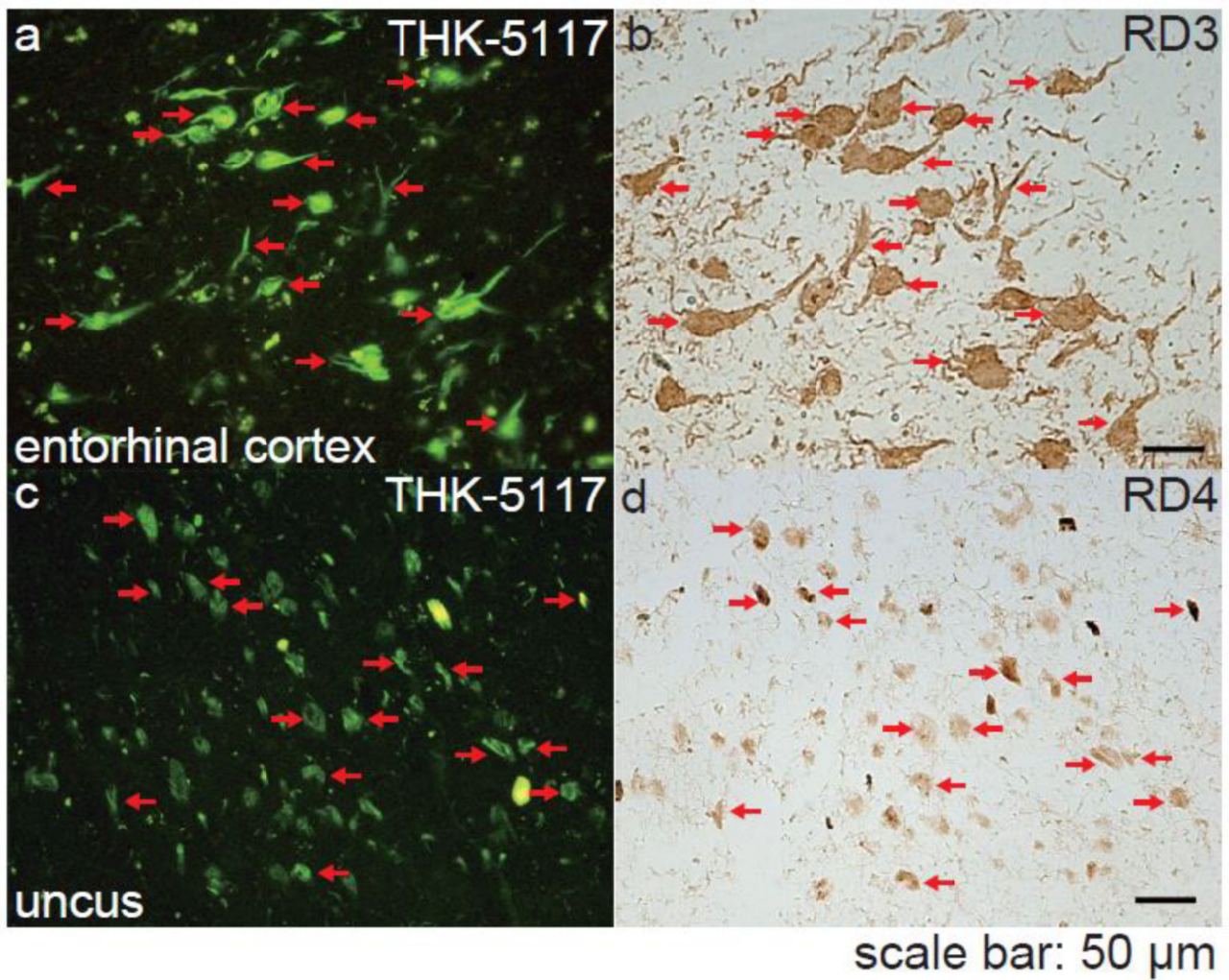


図 10 同一切片における THK-5117 の蛍光染色画像とタウ蛋白のリピードドメインに対する抗体(RD3, RD4)の免疫染色画像。THK-5117 の染色パターンは RD3, RD4 の免疫染色のパターンと一致しており、THK-5117 の結合性はタウ蛋白のリピードタイプには依存しない。矢印：一致しているものを示している。

